

## 次世代経営研究会実施報告



## 「現場目線で考える日本の農業のこれから」 前半

事業部会経営委員会  
次世代経営研究会運営委員会

## 1. はじめに

2023年10月24(火)に「次世代経営研究会第10回定例会」をリモートの形式で開催した。参加者は関係者を含めて32名であった。今回は(株)ACWパートナーズ代表取締役の大國仁氏をお招きして、「現場目線で考える日本の農業のこれから」の演題でご講演いただいた。世界情勢が不安定な中、生きていくために必要な食糧の確保は全国民にとって重要な課題である。農業への関心は高まっているが、農業者の高齢化による減少は進んでおり、何らかの手を打っていく必要があるという認識の元に、今回は日本の農業に焦点を当てた。

大國氏が代表を務めるACWパートナーズは、約7年間農業産業に関わり、30以上の農業法人や7つの農業協同組合(JA)にコンサルティングや研修サービスを提供してきた。その中で見えてきた農業の実態や課題、伸びしろ、あるいはさまざまな地域と地域の強みを生かした農業など、日本の農業を総論で語るのではなく、今後の農業にどのようなチャンスがあり、どのようなアクションが考えられるか、ご講演いただいた。

当日は3つのパートに分けて、講演とパート毎に意見交換を行い、最後の総合討論を行った。

1. 自己紹介、現場で見えてきた農業の実態
2. 地域農業を持続的に担う大規模経営体への期待
3. JAとは？ JAを生かした農業の強化

■ 本号では基調講演とその討議の概要を紹介する。

2. 開会挨拶 本研究会運営委員会・委員長  
谷本勲

今日は(株)ACWパートナーズの大國仁氏に「現場目線で考える日本の農業のこれから」と題してお話いただく。大國氏とは本日が初対面であり、ご紹介するというほどのことはできないが、農業という観点でお話いただけることを大変楽しみにしている。世界各地で紛争問題が起こって食糧問題につながってきている。また、気候問題、温暖化対策というようなところから、農業がわれわれも巻き込まれた形で深刻な問題となっていくのではないかという気がしている。

もう一つの驚きは大國氏のキャリアである。東京工業大学大学院、生産機械工学専攻をご卒業、三菱自動車工業に就職、経営コンサルティングに転職、さらに農業関係のものをいろいろな形で出版されている。農業とは全然関係なさそうなキャリアを持ちながら、農業を見ている。いわゆる農家あるいは農業に関連する人とは全く別の視点から面白いお話になると感じている。

品質工学という観点からも農業は非常に興味深い。それはパラメーターが非常に複雑で、いわゆる論理ではない。いろいろな自然条件がいろいろなパラメーターの中に入ってきて、それをどう解いていくか。もう一つは一年あるいは半年で結果が出るので、評価として面白い。また、工業や漁業と異なりわれわれが過程や成果を直接見ることが容易であるので、大國氏のお話を聞いた後、共通したイメージの中でいろいろな議論ができていけると思う。自分たちの企業環境をさらに高いマクロ視線から見るといような感覚を、この講義を通して、あるいは講